

令和5年度 不祥事ゼロプログラム検証結果

1 令和5年度の活動状況

(1) 不祥事防止委員会において協議した内容

- 「令和5年度不祥事ゼロプログラム」の結果についての検証と反省
- 「令和6年度秦野総合高等学校 不祥事ゼロプログラム」の作成
- 公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）
- セクハラ・わいせつ行為の禁止
- 体罰・不適切指導の根絶
- 成績及び進路関係書類作成に係る事故防止策について
- 公務における個人情報の保護、情報セキュリティ対策について
- 情報共有、相互チェック体制、業務協力体制等の業務執行体制の確立について
- 私費・公費の会計事務の適正な執行と管理の方法について

(2) 不祥事防止会議、職員研修等の内容

【全日制】

- 第1回 4/5：不祥事ゼロプログラムの周知
- 第2回 4/21：風通しの良い職場づくり
児童・生徒の個人情報の取扱い ・個人情報チェックシート
- 第3回 6/9：STOP!ザ・セクハラ／わいせつな行為 ・個人情報チェックシート
- 第4回 7/13：定期試験、成績処理の事故防止
体罰、不適切な指導の防止 ・個人情報チェックシート
- 第5回 8/29：不祥事防止研修会 「個人情報の紛失・漏えい等の防止」
- 第6回 9/26：服務規律の遵守
個人情報の適切な扱い、情報セキュリティ ・個人情報チェックシート
- 第7回 10/26：適正な私費会計の取扱い ・個人情報チェックシート
- 第8回 11/24：飲酒運転等の根絶
県立学校人権教育推進のために ・個人情報チェックシート
- 第9回 12/19：入学者選抜の事故防止 ・個人情報チェックシート
- 第10回 2/2：職場のハラスメントの防止 ・個人情報チェックシート
- 第11回 2/7：不祥事防止に係る動画視聴
- 第12回 3/21：コンプライアンス意識の醸成について ・個人情報チェックシート
風通しの良い職場づくり

【定時制】

- 第1回 4/4：不祥事ゼロプログラムの周知・個人情報チェックシート
- 第2回 4/21：児童・生徒の個人情報の取扱い・個人情報チェックシート
- 第3回 6/9：STOP!ザ・セクハラ／わいせつ行為
個人情報チェックシート
- 第4回 7/13：定期試験・成績処理の事故防止・体罰、不適切な指導・個人情報チェックシート
- 第5回 8/29：不祥事防止研修会「個人情報の紛失・漏えい等の防止」
- 第6回 8/30：服務規律の遵守・個人情報チェックシート
- 第7回 10/2：個人情報の適切な取り扱い・情報セキュリティ・個人情報チェックシート
- 第8回 10/26：適切な私費会計の取り扱い・個人情報チェックシート
- 第9回 11/24：飲酒運転等の根絶に向けて・性暴力の研修会・個人情報チェックシート
- 第10回 12/12：入学者選抜の事故防止・個人情報チェックシート

- 第 11 回 1/13 : 個人情報チェックシート
- 第 12 回 2/7 : 不祥事防止に係る動画視聴・職場のハラスメントの防止・コンプライアンス意識の醸成・個人情報チェックシート
- 第 13 回 3/ 15 : 風通しの良い職場づくり・個人情報チェックシート

2 上記の活動に対する校長の意見

- コロナのため自粛されていた学校行事等もコロナ前のように実施することができたが、人間関係やコミュニケーションに悩む生徒の対応や接し方に配慮が必要であった。
- 「かながわ子どもサポートドック」の導入に伴い、支援の必要な生徒への支援体制を協力して構築することに努めた。
- 部活動等の指導において、顧問間で連携を取りながら日ごろの活動において、体罰・ハラスメントのない生徒の人権を尊重する指導をしっかりと意識し、確認し合いながら生徒指導をおこなうよう指導した。
- 私費会計においてはインターネットバンキングを利用し、現金を取り扱う機会を減らすことにより職員の負担軽減と、明瞭で適正な会計処理を徹底し事故防止に努めた。帳票作成については会計方法を周知、徹底させ、公金に対する意識を徹底し高めさせた。
- 成績支援システムによる成績処理や調査書の具体的な入力方法と点検体制を確認しながら、事故防止に努めた。
- ネットワーク運用に係るマニュアルを整備し、情報セキュリティに対する意識を高めた。クラスルーム登録の際には複数の職員で対応・確認し、不正な使用から起こる事故防止策を徹底した。
- 定期試験の実施期間中にシュレッダーの使用を禁止し、誤廃棄防止に努めた。
- 不祥事防止に対する職員の意識を高めるために毎月の職員会議時に不祥事防止会議を実施し、研修資料を活用し様々な啓発を行った。
- 今年度新たに導入されたインターネット出願システムを利用した入学者選抜に関する事故防止については、入学者選抜委員会において、校内業務マニュアルの読み合わせを丁寧におこない、業務内容や作業手順を明確にし、職員に十分に把握した上で細心の注意を払い、確実に遂行するよう指導した。

3 次年度の取組み予定

- 一人一台端末を活用し、Chromebook の利用や BYOD による生徒端末を授業等で活用する場面が増えてくるため、より一層情報セキュリティの意識を高め、しっかりとした個人情報の管理とネットワークの運用を実践していく。
- 学校を生徒と職員のウェルビーイングを高める場とするため、誰でも助け合い支え合える教育活動実現を図る。
- 「かながわ子どもサポートドック」の導入 2 年目となり、支援の必要な生徒に対して、必要な支援ができるように、SC や SSW とも協力し、校内の支援体制をさらに充実させる。
- 「令和 6 年度秦野総合高等学校不祥事ゼロプログラム」では、人権意識の向上、スクールポリシーとユニバーサルデザインを意識した教育の実現、そしてそれを支える若手教職員の育成に重点をおき、不祥事防止を徹底していく。